

## 中国における日本の映画ドラマ事情

弁護士法人大江橋法律事務所  
弁護士 松本 亮

PROFILE

中国で宮崎駿監督の「君たちはどう生きるか」が大ヒット中である。日本での興行成績は半年間で約88億円だったが、中国では公開後約1カ月で約150億円（7億元）を超えたということである。5月上旬の労働節の連休の興行収入では、「SPY×FAMILY」や「ハウルの動く城」が上位に入ったという報道もあった。昨年はスラムダンクの映画が中国で公開され、その興行収入は130億円を超えたということである。このように日本のアニメは中国で大変人気があり、日本のアニメ業界にとって大きな市場になっている。

日本でヒットした映画やドラマが中国で放映され、中国でも人気を博するという事はよくある現象である。例えば上記のアニメ作品の他、「東京ラブストーリー」や「おしん」などは日本でも中国でも非常に有名な作品である。

しかし中国で流行した作品の中には日本以上に中国で有名な作品がある。皆さんは1979年から1980年にかけて放映された「燃えろアタック」という女子バレーのテレビドラマをご存じだろうか。このドラマは中国で「排球女将」という名前で放映されたが、中国では視聴率が80%を超えたという超人気ドラマであった。当時を知る中国人は、日本の様子を知ることができる貴重なドラマであり、毎週の放送を心待ちにしていたそうである。あいにく私は世代が異なることもあり存じ上げないのだが、私の周りの日本人に聞いてもそこまで記憶に残っている方は少ないようである。中国では絶大な人気を誇った番組ということでいまだに話題に上ることがある他、主人公である小鹿ジュン（中国では「小鹿純子」とされ

ている）を演じた荒木由美子さんは中国で大変に人気があり、中国でのテレビ出演に招かれたりしたこともある。このように日本以上に中国で人気の出たともいえるドラマがあるのは非常に興味深いことである。

インターネットが発達し容易に日本の情報に触れることができ、また日本へ旅行に行くことができるようになった現代においては、日本の映画やドラマを見ることによって、日本の生活を知るという側面はなくなってしまったかもしれない。しかし韓流ドラマが日本で流行しているのと同様、日本のアニメ以外にも、日本の映画やドラマが構成さえ面白ければ中国で受け入れられる可能性は十分にあると思われる。現に昨年日本で放送された「ブラッシュアップライフ」という人生をやり直すドラマが、中国ではかなりの高評価を得ていたようである。映画やドラマを中国向けの内容に変更する必要は全くなく、中国人がこれまで見たことのない新たな視点や感性を盛り込んだものであれば、中国でもヒットするのではないかと思われる。

以上

具体的な事案に関するお問い合わせ☒メールアドレス：[info\\_china@ohebashi.com](mailto:info_china@ohebashi.com)

本ニュースレターの発行元は弁護士法人大江橋法律事務所です。弁護士法人大江橋法律事務所は、1981年に設立された日本の総合法律事務所です。東京、大阪、名古屋、海外は上海にオフィスを構えており、主に企業法務を中心とした法的サービスを提供しております。本ニュースレターの内容は、一般的な情報提供に止まるものであり、個別具体的なケースに関する法的アドバイスを想定したものではありません。本ニュースレターの内容につきましては、一切の責任を負わないものとさせていただきます。法律・裁判例に関する情報及びその対応等については本ニュースレターのみによって提供されるべきでなく、必要に応じて別途弁護士のアドバイスをお受け頂ければと存じます。